

マーケットの動き（2026年8月31日～9月4日）

先週の米国株式市場は、前週末比でS&P500種株価指数は上昇した一方、NYダウは下落しました。週初は、中東情勢の緊迫化を背景に、原油価格の上昇や米長期金利の上昇が嫌気され、株式は売られました。その後は、3日のFRB（米連邦準備制度理事会）高官の発言を受けて利上げ観測が後退し、買い戻しが入る場面もみられましたが、週末に発表された8月の米雇用統計が市場予想を上回ったことで利上げ観測が再び高まり、投資家心理の重荷となりました。

欧州株式市場は、ドイツ株式市場は下落した一方、英国株式市場は上昇しました。

投資環境見通し（2026年9月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については引き続き、AI関連企業を中心に全般的に高い増益率を維持するとみています。米国株式相場は、長期金利が上昇する中、AI関連銘柄が主役となる展開は徐々に成熟しつつも、当面は変動率が高くなるとみられます。ただし、企業業績は好調なことから、循環物色の動きを伴って、次第に底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が重しとみられますが、域内諸国の財政拡張政策に支えられ、循環物色の動きを伴いつつ底堅く推移するとみています。

	9月4日	騰落率			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	7,718.60	0.09%	▲0.23%	12.36%	18.71%
NYダウ	53,414.25	▲0.27%	▲1.24%	9.59%	17.08%

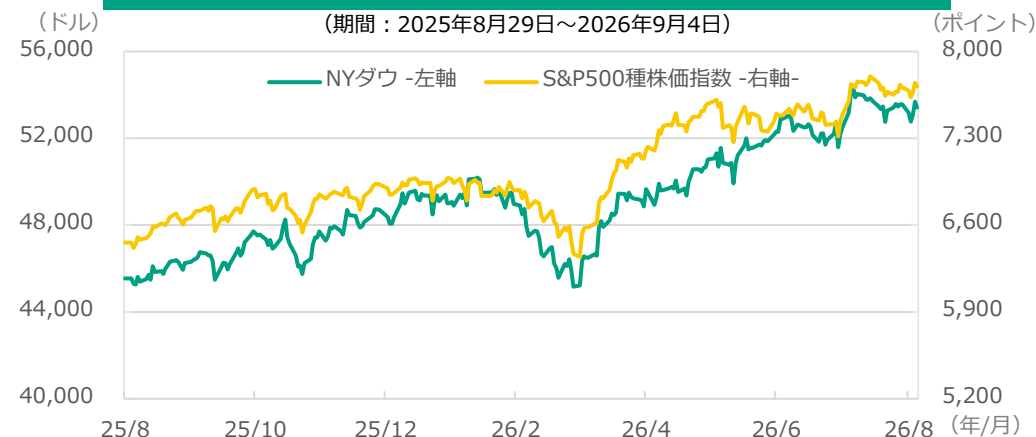
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

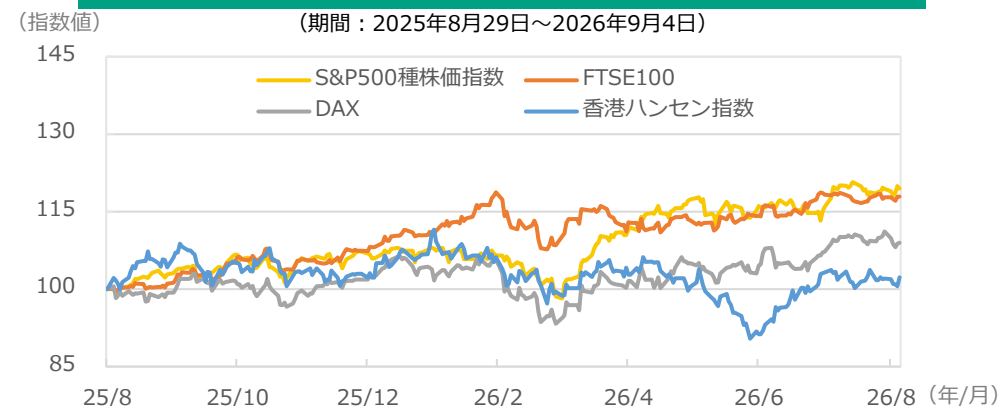
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202609_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2025年8月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成